杉原千畝のビザと人々の道すじ

一人の判断が、国をこえて何をもたらしたのでしょう

1939年
カウナスの 日本
領事館に 着任

1940年 7〜8月
日本を 通る ための
ビザ（通過査証）を
発給する

発給の 記録
2,139人分。
救われた 人は
約6,000人と 言われる

1984年
イスラエルが「諸国
民の 中の 正義の 人」
に 認定

1986年
亡くなる

ビザを 受けた 人々の 道すじ（模式）



ポーランドなどから のがれて きた 人々（多くは ユダヤ系の 人々）が、日本を 通って ほかの 国へ 向かった

※ 道すじは模式（地図の形や距離は正確ではない）。年と出来事は、外務省・アジア歴史資料センターなどの資料による。